

鍊金術



金龍術

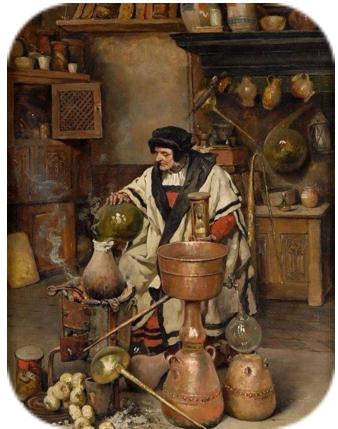


鍊金術 セミナー／ワークショップ

このワークショップは、鍊金術に興味のある人なら誰でも参加でき、化学、物理学、植物学など、今日の科学に関連する訓練を受ける必要はない。

このワークショップでは、ピーター・メフメット・カティがヨーロッパ鍊金術の基礎を教える。ヨーロッパの鍊金術は古代エジプトに端を発し、アラブ文化を経てヨーロッパにもたらされました。しかし鍊金術はもっと古く、スピリチュアルな世界、カミの世界、さらにはそれ以上の世界から来ており、すべての宇宙の根底にあるものです。

エジプトを経由してヨーロッパに伝わった鍊金術は、古代日本の海洋文化に端を発している。そこでピーター・メフメット・カティは、パラケルススによるヨーロッパの古い鍊金術を教えることで、このワークショップで鍊金術を日本に取り戻したいと考えている。ワークショップでは、参加者全員で本物の鍊金術チンキを作り、お持ち帰りいただきます。このワークショップでは、いわゆる植物鍊金術について話しながら、鍊金術の基礎と入門を学び、また実際に鍊金術に取り組みます。



このワークショップでは、ご自宅でオリジナルのチンキ剤を作ることができます。このワークショップは、ピーター・メフメット・キヤティがさらに計画しているワークショップの基礎となるもので、金属からレメディを作ったり、宝石からレメディを作ったりできるようになります。また、いわゆるフリーエネルギー装置など、現代でも使える古代の技術に関するワークショップも計画されている。



鍊金術は、今日とはまったく異なる考え方や作業方法に基づいています。一貫性があり、正確で、科学的で、「まったく異なる側面から」のものもあります。今日、自然は主に化学的・物理的な分析方法を用いて研究されている。対照的に、鍊金術は「精神的」考察（スピリチュアルなものに焦点を当てた）において、「まったく別の角度から」自然を探求する。ヨーロッパで最も有名な医師であり鍊金術師であったパラケルスス（1493-1541）は、すべての知識は自然の光の中でしか見ることができないと説いた。しかし、これは主に自然の学校（鍊金術）と人生経験を通じて行わなければならないプロセスである。



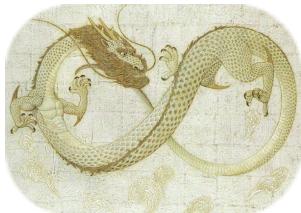
鍊金術の
降りてき
における死



「知識」は天（靈界／カミの世界）から
て、鍊金術師を極界（生と死のサイクル）
の眠りからラッパの音のように目覚めさせ
る。鍊金術とは、スピリチュアルなものを物質に応用する科学で
ある。



内なる）金の靈薬（Aurum Potabile / Dragon Gold）を求める鍊金術師。横
断幕の文章は、鍊金術師が自然の性質と現象について学ばなければなら
ないことを要求しているが、それは彼自身の「眞の」性質にも当てはまる。
(鍊金術の彩色手稿「ラ・トイソン・ドール」より)



◀
太陽戦車の下でのプロセスは、3つの頭を持つ龍を通して、アルベ
ド（白化）、ルベド（赤化）、ニグレド（黒化）として知られる
鍊金術の3つの段階を象徴しており、これは物質の幾何学的性質の
色（振動）を表し、実験室では（人間自身と同様に）このように
表すことができる。



先生について：

ピーター・メフメット・キャティはドイツで長年鍊金術を教えていた。ドイツのミュンヘン近郊にある「ナトゥールヴィッセン」トレーニングセンターで講師を務めた。企業や医師へのアドバイスや、様々な健康テーマ、鍊金術、スピリチュアルな側面に関する多くの記事を執筆。実践志向の新しいホメオパシー」のトレーナーであり、数千年前に遡るパラケルススの伝統を受け継ぐ眞の鍊金術師でもある。ドイツとスイスで多くのセミナー、ワークショップ、講演会を開催し、鍊金術とフリーエネルギー装置の話題でドイツ、オーストリア、スイスで非常に有名になった。2020年、彼はドイツでの活動を完全に停止せざるを得なくなった。現在、彼は鍊金術を日本に持ち帰ることを計画している。鍊金術はかつて日本の自然科学の一部であり、忘れられていたからだ。ピーター・メフメット・キャティの鍊金術は、古神道や山伏の生活様式と密接に結びついているが、ヨーロッパやヴェーダの視点から見たものである。

ドイツからのセミナー写真

